



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月2日

上場会社名 イーレックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9517 URL <http://www.erec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 花島 克彦 TEL 03 (3243) 1118
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,372	—	1,087	—	751	—	580	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 482百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	62.86	59.90
26年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は平成26年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、平成26年12月22日に東京証券取引所マザーズに上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 平成26年9月3日付にて、普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,932	9,373	53.1
26年3月期	9,840	3,455	35.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 8,992百万円 26年3月期 3,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	9,000.00	9,000.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日（平成27年2月2日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 当社は、平成26年9月3日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
3. 平成27年3月期配当金の内訳 普通配当金 10円00銭、記念配当金 10円00銭
 平成26年12月22日に公表いたしました配当予想で公表いたしました普通配当金9円00銭を1円00銭増配し、10円00銭とするとともに、上場記念配当金を10円00銭とするものであります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	16,898	110.4	1,530	108.7	1,302	93.6	916	112.4	88.66

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成26年9月3日付にて、普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮した予定期中発行済株式数により算定しております。

3. 平成27年3月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式数（4,000,000株）及びオーバーアロットメントによる第三者割当増資分（600,000株）を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）イーレックスニューエナジー佐伯株式会社

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期3Q	13,031,000株	26年3月期	8,301,000株
27年3月期3Q	0株	26年3月期	0株
27年3月期3Q	9,232,111株	26年3月期3Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）平成26年9月3日付にて、普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第3四半期連結累計期間については、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和策により、円安、株高で推移し、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、輸入物価の上昇による国内物価の上昇、消費税率の引き上げによる個人消費の低迷等の懸念から、国内景気の持ち直しの動きも鈍く、欧州景気・新興国経済の減速も予測されており、先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループを取り巻く経営環境におきましては、原油価格は下落していますが、円安等の為替相場の影響もあり、原材料の仕入価格の高止まり状態も顕在化しているとともに、競合他社との販売価格競争も厳しさを増しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループにおきましては、平成26年7月に設立したイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の建設工事が平成26年9月に開始され、平成28年11月の商業運転開始に向けて着実なスタートを切っております。先行して操業を開始したイーレックスニューエナジー株式会社土佐発電所では観測史上最大雨量の台風11号の影響は有りましたが、安定した稼働を行う事が出来ました。

販売面においては、引き続き収益性の高い案件獲得に努め、過当競争を避ける為の販売代理店網構築に尽力いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は12,372,568千円、東京証券取引所マザーズ市場への上場関連費用41,353千円等の影響により営業利益は1,087,381千円、連結子会社であるイーレックスニューエナジー佐伯株式会社のシンジケートローン契約締結に係るアレンジメントフィー300,000千円等の影響により経常利益は751,013千円、保険積立金解約益89,290千円を特別利益に計上したこと等により、四半期純利益は580,357千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して、7,091,877千円増加し、16,932,776千円となりました。これは主として、公募増資による現金及び預金の増加、連結子会社であるイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の発電設備建設に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比較して、1,173,536千円増加し、7,558,992千円となりました。これは主として、連結子会社であるイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の発電設備建設に伴う未払金の増加及びシンジケートローンの第1回借入実行に伴う長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比較して、5,918,341千円増加し、9,373,783千円となりました。これは主として、太平洋セメント株式会社からの増資及び公募増資に伴う資本金及び資本準備金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想については、平成26年12月22日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、イーレックスニューエナジー佐伯株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等が平成26年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等（ただし、連結会計基準第39項に掲げられた定めを除く。）を適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であり、営業利益及び経常利益に与える影響はありません。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601,187	7,031,089
売掛金	1,652,875	1,825,672
原材料及び貯蔵品	183,669	209,387
繰延税金資産	33,278	11,163
未収入金	563,338	578,148
その他	217,759	75,816
流動資産合計	5,252,109	9,731,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	701,280	653,268
機械装置及び運搬具(純額)	3,115,550	2,804,611
建設仮勘定	—	3,058,560
その他(純額)	26,807	22,567
有形固定資産合計	3,843,637	6,539,007
無形固定資産		
その他	31,894	27,080
無形固定資産合計	31,894	27,080
投資その他の資産		
投資有価証券	446,336	443,680
繰延税金資産	28,414	50,077
敷金及び保証金	67,050	75,750
保険積立金	129,506	—
その他	41,950	41,421
投資その他の資産合計	713,257	610,929
固定資産合計	4,588,789	7,177,016
繰延資産		
株式交付費	—	24,481
繰延資産合計	—	24,481
資産合計	9,840,898	16,932,776

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,304,394	1,493,089
1年内返済予定の長期借入金	488,760	488,760
未払金	176,704	909,726
未払法人税等	442,819	96,221
賞与引当金	35,740	—
役員賞与引当金	46,340	—
その他	91,092	81,648
流動負債合計	2,585,850	3,069,446
固定負債		
長期借入金	2,738,640	3,393,260
資産除去債務	745,262	752,880
役員退職慰労引当金	300,700	326,791
その他	15,003	16,615
固定負債合計	3,799,605	4,489,546
負債合計	6,385,456	7,558,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	625,000	3,142,800
資本剰余金	—	2,521,403
利益剰余金	2,822,175	3,327,824
株主資本合計	3,447,175	8,992,027
少数株主持分	8,266	381,755
純資産合計	3,455,442	9,373,783
負債純資産合計	9,840,898	16,932,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	12,372,568
売上原価	10,496,523
売上総利益	1,876,045
販売費及び一般管理費	788,664
営業利益	1,087,381
営業外収益	
受取利息	4,021
受取配当金	297
受取手数料	7,557
その他	967
営業外収益合計	12,843
営業外費用	
支払利息	45,380
支払手数料	300,500
その他	3,330
営業外費用合計	349,211
経常利益	751,013
特別利益	
保険積立金解約益	89,290
特別利益合計	89,290
税金等調整前四半期純利益	840,303
法人税、住民税及び事業税	357,150
法人税等調整額	452
法人税等合計	357,602
少数株主損益調整前四半期純利益	482,700
少数株主損失(△)	△97,657
四半期純利益	580,357

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	482,700
四半期包括利益	482,700
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	580,357
少数株主に係る四半期包括利益	△97,657

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年7月31日付で、太平洋セメント株式会社から第三者割当増資の払込みにより、資本金及び資本剰余金がそれぞれ365,000千円増加しております。

また、平成26年12月22日付で、公募による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,152,800千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,517,800千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,142,800千円、資本剰余金が2,521,403千円となっております。